

所属・氏名（ 健康科学部 医療栄養学科 氏名：阿南 まどか ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書)				
2 (学術論文) 1.Cocaine has some effect on neuromedinU expressing neurons related to the brain reward system	単著	2020(令和 2)年 5 月	Heliyon 19:6(5):e03947	<p>著書全体の概要： ニューロメジン U(NMU)は中枢性摂食抑制作用を有する神経ペプチドであり NMU システムと脳内報酬系との関連性が示唆されているが、詳細は明らかになっていない。この修士論文ではマウスへのコカイン末梢投与モデルを用いて、摂食関連ペプチド・NMU と脳内報酬系との関連を検討した。 (総ページ数： 8 頁) (著書全体の著者名 Madoka Anan, Ryoko Higa, Kenshiro Shikano, Masahito Shide, Akinobu Soda, Magdeline E. Carrasco Apolinario, Kenji Mori, Toshitaka Shin, Mikiya Miyazato, Hiromitsu Mimata, Takatoshi Hikida, Toshikatsu Hanada, Kazuwa Nakao, Kenji Kangawa, Reiko Hanada)</p>
3 (報告・発表) (学会発表) 1.コカイン投与時における脳内 NMU システムの関与の検討	共同	2018(平成 30)年 4 月	第 91 回日本内分泌学会 学術総会	<p>論文全体の概要：ニューロメジン U(NMU)は 1985 年にブタの脊髄から単離された生理活性ペプチドである。近年、脳内における NMU システムと脳内報酬系の関連性が示唆されているが、未だ明らかなメカニズムは報告されていない。そこで、マウスにコカインを投与した際に活性化する脳部位を同定し、脳内 NMU システムとの関連の検討し、ポスターにて発表を行った。 (阿南まどか、寺西仁志、比嘉涼子、鹿野健史朗、花田礼子)</p>
4 ()				
5 ()				